

岩手花巻に伝わる伝統芸能「山伏神楽」と
沖縄の伝統芸能「組踊」。
東北の魂と南島の魂が、芸能で通じ合う。

北の魂、南の魂

— 神楽と組踊 —

2019年

10月12日 土 13:30開演 [開場:30分前]

沖縄市民小劇場あしびなー

前売チケット ● 一般 3,000円 [当日券3,500円] ● 学生 1,500円 [小学生～大学生]
*小学生未満膝上無料 / 3才未満は入場ご遠慮ください。

プレイガイド ● 沖縄市民小劇場あしびなー ● パレットくもじ8Fりょうぼうチケットカウンター

お問い合わせ ● ステージサポート沖縄 070-5488-1863 (平日11-19時)

● 合同会社オフィス風屋 kazeya.kitayama@gmail.com



かつて、神々が豊作や豊漁をもたらすと考えられていた時代。
人々は神々の力を信じ祈りを捧げ、寿ぎ、祝い、豊穰の喜びをともにしてきた。
そんな自然の神々と民衆は、祭りの中で奉納される歌や踊りを通じて
魂の交流を図ってきた。

沖縄の伝統芸能「組踊」は、1719年の初演からちょうど300年。
全く違う形で継承発展してきた岩手の山伏神楽でも、通底する魂は同じ。
北と南の芸能の、魂がここに交わり合う。

琉球舞踊「かぎやで風」

踊り手 真境名律弘・大湾三瑠

IWATE

神楽「翁舞」

組踊「執心鐘入」

指導 宮城能鳳

配役 中城若松：福島千枝

宿の女：又吉聖子

座主：伊野波盛人

小僧：仲村圭央・山崎啓貴・宮里光也

歌三線：眞榮田徹也・照屋武市・松川慶介

箏：新垣和代子 笛：澤井每里子 胡弓：大濱麻未 太鼓：我部大和

神楽「鐘巻」

神楽「権現舞」

《岩手県花巻市指定無形民俗文化財》

上根子神楽(かみねこかぐら)保存会

岩手県花巻市上根子地区に伝わる、修験系の山伏神楽。現存する明治初年の言立(謡)本によると江戸後期からの伝承ではないかと言われている。岩手の山伏神楽では早池峰神楽(ユネスコ無形文化遺産)が有名だが、上根子はそれとは異なる円万寺神楽流という同流独特の流れるような動きが特徴。本拠地上根子熊野神社の例大祭をはじめ、元旦奉納や近隣神社での奉納神楽を行っている。毎年2月には熊野神社氏子地区を1軒1軒権現舞を奉じて歩く「春祈祷」が行われ、古の「霞」といわれる氏子地域守護の行事も残っている。近年では、当地での観光客向け公演や別神楽団体との若手交流会なども行っている。

主催 一般社団法人ステージサポート沖縄

共催 合同会社オフィス風屋・上根子神楽保存会・沖縄市まちづくり文化コンソーシアム

協賛 組踊上演300周年記念実行委員会

助成 (公財)ポララ伝統文化振興財団・コザ信用金庫

後援 沖縄タイムス社・琉球新報社・一般社団法人伝統組踊保存会

OKINAWA